

デジフラッシュ用パターン作成・送信ソフト

操作説明書



0 はじめに

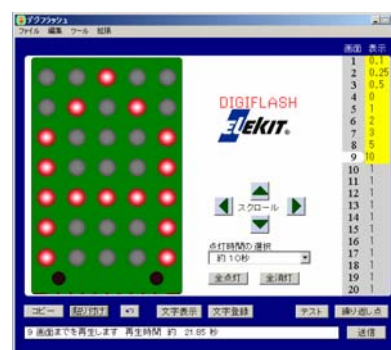
デジフラッシュ(PS-346)にパターンを転送するためには以下のものがが必要です。

- ・ デジフラッシュ(PS-346)本体
- ・ デジフラッシュ用パターン作成・送信ソフト
<http://www.elekit.co.jp/download/index.php> から無償ダウンロードできます。
- ・ ステレオミニプラグコード(PS-346 に付属しています。)
- ・ 後述のシステム条件を満たしたパソコン

1 概要

本ソフトウェア「デジフラッシュ用パターン作成・送信ソフト」は、デジフラッシュ(PS-346)に記憶する 20 画面のパターンを簡単に作成し、作成したデータを送信するためのソフトウェアです。

PS-346 は、最大で 20 画面分のパターンを記憶して、順次再生表示することができる機能を持っています。本ソフトウェアでは、PS-346 の再生表示のイメージに沿って簡単にパターンを作成することができます。また、作成したパターンをアニメーション表示する、テスト表示機能も持っていますので、PS-346 での動作を擬似的に確認することもできます。



本説明書中では、「デジフラッシュ用パターン作成・送信ソフト」を、DFI と表記します。

DFI は「Digi Flash Interface software」の略です。

2 システム条件の確認

DFI を利用するために必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。

オペレーティングシステム(OS)	: Windows98SE/Me/2000/XP
CPU	: Pentium300MHz 以上
主記憶メモリ	: 64MB 以上
ハードディスク空き容量	: 30MB 以上
ディスプレイ	: 800 × 600 以上の解像度 (推奨 High Color 16Bit)
出力	: <u>ヘッドホン端子を装備していること。</u>

ご注意

本ソフトはヘッドホン出力信号を利用してデータを送信しますので、お使いのパソコンのヘッドホン信号出力部分が著しく劣化・消耗している場合には音による通信が正常に行われない場合があります。そのような症状が疑われるときは、別のパソコンでの動作確認・利用をお願い致します。

3 DFI のインストール

弊社ホームページより DFI を使用するパソコンにダウンロードします。

<http://www.elekit.co.jp/download/index.php> から無償ダウンロードできます。

- 1) 弊社ホームページのダウンロード画面から、指示に従ってソフトを適当なフォルダに保存します。
- 2) ダウンロード後、指定したフォルダ内に DigiFlashSetup.exe が作成されます。



- 3) このファイルをダブルクリックするとインストールが始まります。画面の指示に従ってボタンをクリックしてください。



- 4) すでに DFI がインストールされている場合は、「修復」または「削除」を尋ねてきます。インストールする場合は、すでにインストールされている DFI を削除したあとに再度インストールすることを推奨します。



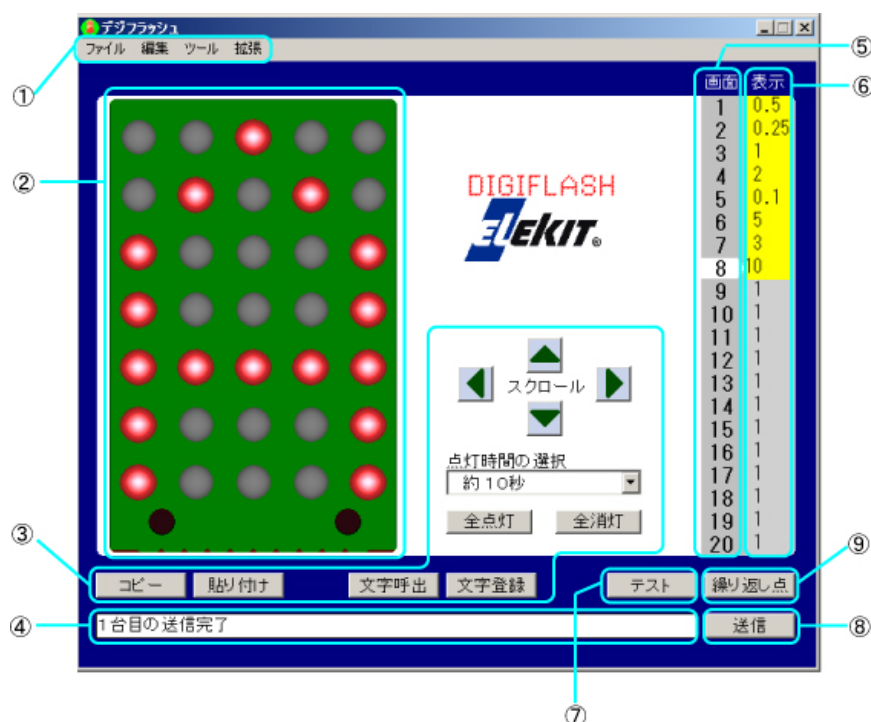
- 5) インストール完了のメッセージが表示されたら「閉じる」をクリックします。



- 6) インストール終了後、DigiFlashSetup.exe と同じフォルダに、DigiFlashSetup というフォルダが作成されています。インストール終了後には不要ですので削除されても構いません。
- 7) パソコンのプログラムにデジフラッシュソフトが登録されています。
[スタート] [すべてのプログラム] [デジフラッシュ]と選択すると、DFI が起動します。

インストールした DFI を削除(アンインストール)するときは、
[スタート] [コントロールパネル] [プログラムの追加と削除]を使用して、削除してください。

4 各部の名称と動作



メニューバー ファイルの保存、取り込み、などのパターン編集用のコマンドが用意されています。
詳しい操作方法は、「8 便利な使い方」をご覧ください。

LED 画面 1 から 20 画面まであります。
の LED 画面選択タブでパターン作成する画面を選びます。

パターン編集ボタン ここにあるボタン群を使用して、パターンを作成・編集します。
詳しい操作方法は、「8 便利な使い方」をご覧ください。

ステータスバー 操作に応じて情報が表示されます。

LED 画面選択タブ 表示されている数字をクリックすると、対応する LED 画面を に表示します。

表示時間設定エリア LED 画面ごとに設定した点灯時間がこのエリアに表示されます。
繰り返し点が設定された場合は黄色の表示で繰り返しの範囲を示します。

テストボタン 作成したパターンを、指定した繰り返し点までアニメーション表示します。
アニメーション表示が実行されている間は「止める」ボタンに変わります。

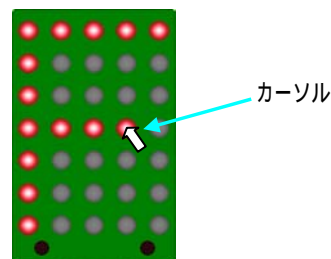
データ送信ボタン 作成したパターンをデジフラッシュ(PS-346)に送信するときに使用します。
送信時の接続や操作は「7 作成したパターンを PS-346 に送信する」をご覧ください。

繰り返し点 使用する LED 画面の範囲を指定します。1 画面目から、このボタンで指定した LED 画面までを繰り返して表示します。

5 パターンを作成する

(5-1) LED 画面上の LED の点灯/消灯

点灯/消灯させたい LED 上にカーソルを合わせます。
左クリックすると、LED が点灯します。
右クリックすると、LED が消灯します。

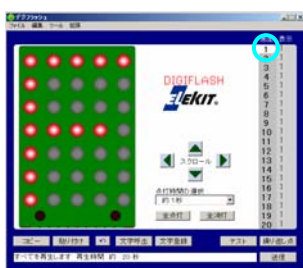


また、左(右)クリックしたままマウスを動かすと、
ポインタが通過した場所の LED が連続して点灯(消灯)します。

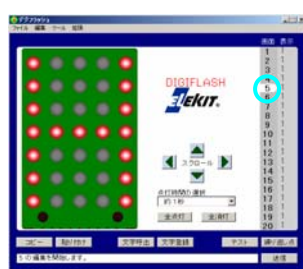
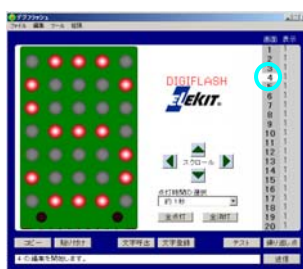
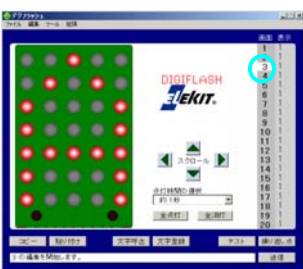
(5-2) パターン作成の例

例えば、F・L・A・S・H というパターンを PS-346 に表示させたい場合の手順を説明します。

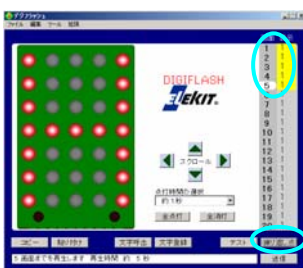
- 1) 画面タブが 1 の位置にあることを確認して、マウスを操作し LED 画面に「F」を描きます。
- 2) 画面タブの 2 をクリックすると、LED 画面 2 が表示されますので、マウスを操作して「L」を描きます。



- 3) 同様に画面タブの 3 をクリックして LED 画面 3 を表示させて「A」を描き、同じように LED 画面 4、LED 画面 5 に「S」「H」を描きます。



- 4) 画面タブが 5 の位置にあることを確認して、「繰り返し点」ボタンをクリックします。ボタンをクリックすると、LED 画面タブ 1～5 の横側が黄色に変わることを確認します。



- 5) 「テスト」ボタンをクリックすると、作成したパターンが、画面 1～画面 5 の順番で、アニメーションで表示されます。
- 6) テスト表示で修正したいパターンがあった場合は、「止める」ボタンをクリックしてテスト表示を終了し、修正したい画面タブをクリックして、LED 画面を修正します。

6 表示時間を変更する

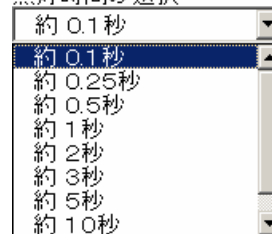
PS-346 は LED 画面ごとに点灯する時間を設定できます。

DFI の「点灯時間の選択」ボックスから、希望する時間を選択することで、現在表示している LED 画面の表示時間を設定できます。

この操作は画面ごとに設定が可能です。

初期値は 1 秒になっています。

点灯時間の選択



設定した時間は、DFI 画面右側の時間表示エリアに表示されますので、いつでも確認できます。

また、時間表示エリアの数字を直接クリックして変更することもできます。

左クリックすると、表示時間を長く、右クリックすると短く変更できます。

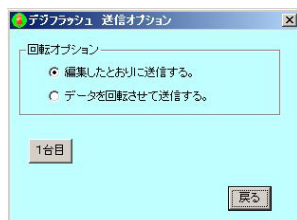
画面	表示
1	0.25
2	0.5
3	1
4	2
5	0.1
6	1
7	1
8	1

ここで設定した時間が PS-346 の点灯時間として、パターンデータと同時に送信されます。

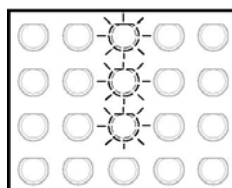
7 作成したパターンを PS-346 に送信する

DFI でパターン作成後、パターンデータを送信する時は、以下の手順で行います。

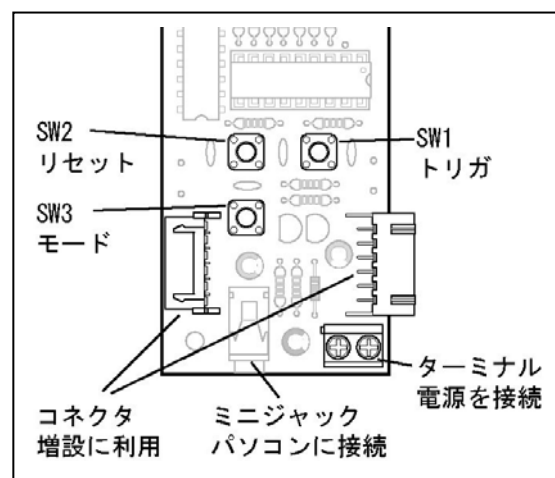
- 1) 「送信」ボタンを押して、送信オプションウィンドウを出します。



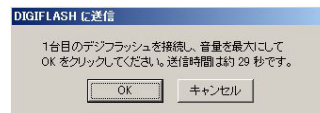
- 2) パソコンのヘッドホンボリュームを最大にします。(1)
- 3) PS-346 のステレオミニジャックとパソコンのヘッドホン端子を付属のコードで接続します。
コードはしっかり奥まで差し込みます。
- 4) PS-346 を書き込みモードにします。書き込みモードにするためには PS-346 の SW3(モード)を数回押して、LED31,32,33 が点灯した状態にします。



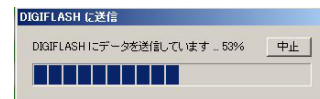
書き込みモード表示



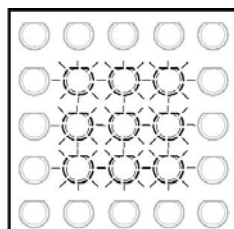
- 5) 送信オプションウィンドウに表示されている、「1 台目」ボタンを押します。確認ウィンドウが表れますので、接続およびボリュームを確認して OK を押します。



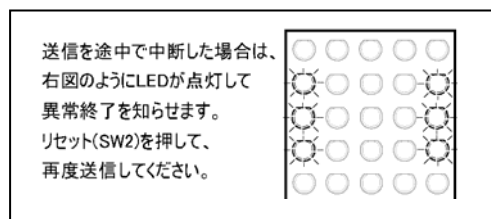
- 6) 送信が始まり、PS-346 の LED がランダムに点灯して、受信中であることを示します。パソコン画面には送信バーが現れます。



- 7) 送受信が終了すると、PS-346 の LED(22 ~ 24,32 ~ 34,42 ~ 44 の 9 個)が点灯します。



受信完了表示



- 8) PS-346 の SW2(リセット)を押すと、順送りモードで表示が始まります。この表示を確認して、DFI で作成したパターンが正常に記憶されて表示されることを確認します。
- 9) PS-346 の SW3(モード)を押し、希望のモード(順送りモードまたは同期モード)を選択して動作させてください。
- 10) 送受信に失敗した場合は、もう一度最初から繰り返します。
- 11) 正常に表示されれば、送受信は OK です。コードを外します。

1 パソコンのヘッドホン用ボリュームを最大にしてください。

パソコンの、[コントロールパネル] [サウンドとオーディオデバイス]を開き、音量タブ中の、[デバイスの音量] [詳細設定] ボタンを押します。

ヘッドホン出力に關係する設定は、**ボリュームコントロール**と **WAVE** と表示されている部分になります。

この部分のレベルを**最大に設定**してください。また、全ミュートがチェックされている場合は、そのチェックを外しておきます。

(パソコンの機種やソフトによって調整に違いがありますので、詳しくはお使いのパソコンの説明書を参照ください。)

機械的なボリュームが付いているパソコンは、そのボリュームも忘れずに最大にしてください。

WindowsXP のボリュームコントロール設定画面の例

ご注意

コードを接続せずに送信を行った場合、パソコンのスピーカーから大きな音が出力されますので、十分注意して操作してください。

8 便利な使い方

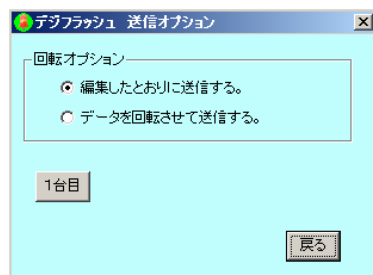
DFI は簡単にパターンを作成できるように、多くの編集機能を持っています。用途に応じてお使いください。

(8-1) メニューバー

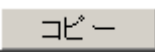
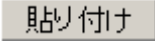


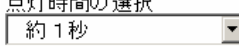



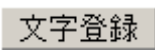
ファイル	保存	作成したパターンを保存します。
	取り込み	保存したパターンを取り込みます。
	新規作成	現在作成中のパターンを廃棄して、新しい画面を開きます。
	終了	DFIを終了します。
編集	コピー	現在表示中の画面のパターンをコピーします。
	貼り付け	現在表示中の画面へあらかじめコピーしたパターンを貼り付けます。
	文字呼出	文字呼び出しウィンドウが現れて、登録されているパターンを現在表示中の画面に呼び出すことができます。
	文字登録	文字登録ウィンドウが現れて、現在表示中の画面のパターンを登録できるようになります。
	次画面複写	現在表示中の画面を、次画面に自動的に複写し、次画面を表示します。
	戻る	操作する直前の状態に戻ります。機能によっては戻ることができない場合もあります。
	前画面	1つ前の画面を表示します。
	次画面	1つ先の画面を表示します。
	時間減	現在の画面の点灯時間を1段階減らします。
	時間増	現在の画面の点灯時間を1段階増やします。
	ツール	回転
上下反転		現在表示中の画面のパターンを上下反転します。
点滅反転		現在表示中の画面のパターンを点滅反転します。
横2倍		現在表示中の画面のパターンを、1台目の左上を基準にして、横に2倍します。
縦2倍		現在表示中の画面のパターンを、1台目の左上を基準にして、縦に2倍します。
縦横2倍		現在表示中の画面のパターンを、1台目の左上を基準にして、縦横に2倍します。
拡張	通常モード	PS-346を1台のみ表示したLED画面になります。
	縦2×横2	PS-346を縦2×横2台で接続した状態のLED画面になります。
	横2連	PS-346を横2台で接続した状態のLED画面になります。
	横3連	PS-346を横3台で接続した状態のLED画面になります。
	横4連	PS-346を横4台で接続した状態のLED画面になります。

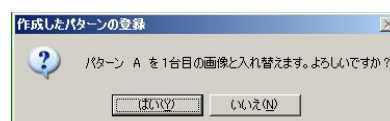
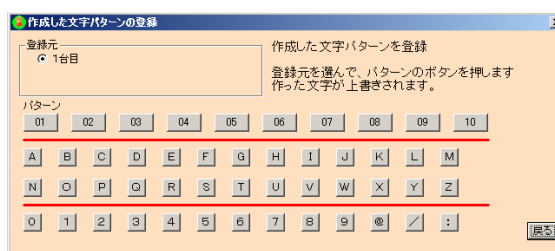
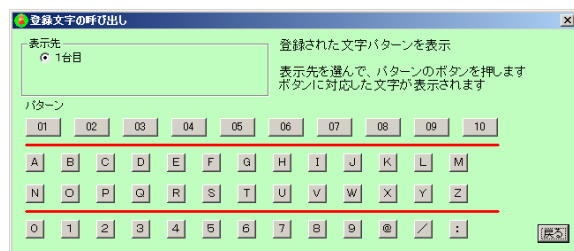
(8-2) 送信オプション

回転オプション	編集したとおりに送信する。	編集したとおりに、実機に表示させる場合に使用します。通常はここにチェックして使用します。
	データを回転させて送信する。	パターンの編集画面と実機の表示方向が180度回転している時に利用します。作成したデータを自動的に180度回転させて送信します。



(8-3) 画面上の、パターン編集ボタン

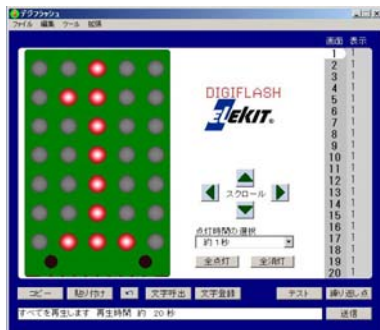
ボタン名	動作										
	現在表示中の画面のパターンをコピーします。										
	現在表示中の画面へあらかじめコピーしたパターンを貼り付けます。										
	操作する直前の状態に戻ります。 機能によっては戻ることができない場合もあります。その場合はボタンは表示されません。										
	現在表示しているパターンをボタンに対応して、 上下左右に1列ずつ、または1行ずつ移動させることができます。 列または行の一番端のパターンは、反対の端に移動します。										
点灯時間の選択 	点灯時間を選択します。選択出来る時間は以下の9通りです。 <table border="1" data-bbox="430 705 941 907"> <tbody> <tr> <td>1)約 0.1 秒</td> <td>6)約 3 秒</td> </tr> <tr> <td>2)約 0.25 秒</td> <td>7)約 5 秒</td> </tr> <tr> <td>3)約 0.5 秒</td> <td>8)約 10 秒</td> </tr> <tr> <td>4)約 1 秒</td> <td>9)0 秒(表示しない)</td> </tr> <tr> <td>5)約 2 秒</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>0秒は、画面をスキップしたい場合に便利です。 画面右側に表示されている時間を直接左・右クリックして変更することもできます。</p>	1)約 0.1 秒	6)約 3 秒	2)約 0.25 秒	7)約 5 秒	3)約 0.5 秒	8)約 10 秒	4)約 1 秒	9)0 秒(表示しない)	5)約 2 秒	
1)約 0.1 秒	6)約 3 秒										
2)約 0.25 秒	7)約 5 秒										
3)約 0.5 秒	8)約 10 秒										
4)約 1 秒	9)0 秒(表示しない)										
5)約 2 秒											
	現在表示中の画面の LED を全て点灯状態にします。										
	現在表示中の画面の LED を全て消灯状態にします。										
	あらかじめ DFI に用意されている文字を、現在の画面に呼び出すことができます。 あらかじめ用意している文字は、A～Z、0～9 などです。 また、文字登録でオリジナルのパターンを登録しているときは、01～10 のボタンをクリックすることで、登録したパターンを呼び出します。										
	オリジナルのパターンを登録します。 登録したいパターンを表示させ、登録したい番号ボタン(01～10)をクリックすることで登録できます。 また、DFI にあらかじめ用意している A～Z や、1～9 などの文字も自分で作成したものに変更することが可能です。その場合も同様に、作成した文字を表示させて、登録を変更したい文字ボタンをクリックします。確認メッセージが現れますので、“はい”をクリックします。										



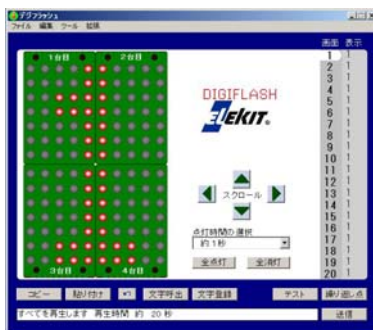
9 基板を複数台利用する。

(9-1)

DFIは、PS-346を複数台利用する場合でも簡単にパターンを作成が行えるように、以下の4つの画面を切り替えることができます。画面が複数台になっても、1台で作成するときと同様の操作でパターンを作成することができます。画面はメニューバーの拡張から選んで切り替えることができます。



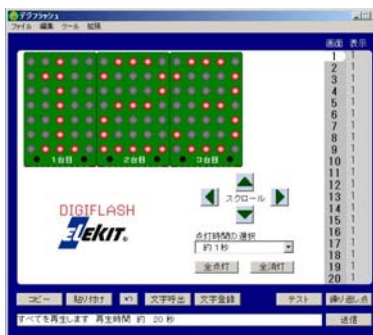
1) 通常画面



2) 縦2×横2画面



3) 横2連画面



4) 横3連画面



5) 横4連画面

(9-2)

複数台画面で作成したパターンをPS-346に送信する

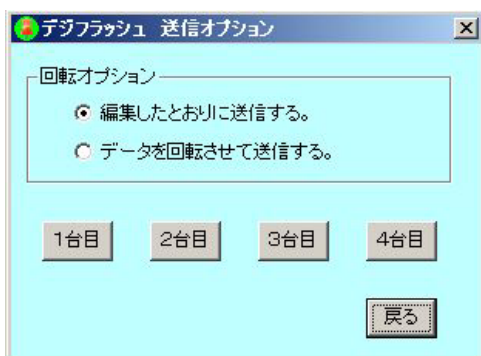
まず1台目にコードを接続し、送信画面に表れる1台目のボタンをクリックし、送信を完了させます。

次にPS-346の2台目と接続し、送信画面の2台目のボタンをクリックして送信を完了させます。

以上の手順で、1台ずつ送信を行います。

(接続している全てのPS-346を書き込みモード状態にしておいてから、順番に送信することをお勧めします。)

全てを送信完了後、PS-346側のパターンが正常でない場合は、もう一度、修正したい機体が何台目であることを確認して、再度送信を行います。



(9-3)

PS-346 を 4 台以上接続する場合は、以下の点に注意してください。

- ・ 複数台接続の台数の目安は 8 台までになっています。DFI の編集画面で 4 台ずつ作成してください。
- ・ 4 台以上接続した場合、同期信号の配線容量の問題で、信号が遅延し、同期動作がうまくいなくなる場合があります。そのようなときは、同期モードに設定する PS-346 上の、抵抗 R5(100k)とセラミックコンデンサ C4(0.1 μ F) を取り外してください。

本説明書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本製品の仕様・内容につきましては、将来予告なく変更する場合があります。

本説明書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

運用した結果の影響については、 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

前項にともない、データの保証は一切できかねますのでご了承ください。さらに、ソフトウェア・ハードウェアトラブルによって発生した機会損失(時期を逸することにより発生する損失)に関しても、保証は一切できかねますのでご了承ください。

イーケイジャパンおよびイーケイジャパン指定以外の第三者により修理・変更されたことに起因して生じた障害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

イーケイジャパン指定以外の仕様の商品または部品などを接続してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、デジフラッシュ専用になっていますので、その他の用途への流用を禁止しています。

当社の許可無く、本製品を利用し、イーケイジャパン指定以外の製品または部品を接続および動作させることを禁止しています。